

# 緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 63 2021年3月11日 JR東労組

3月11日

## 東日本大震災から 10 年

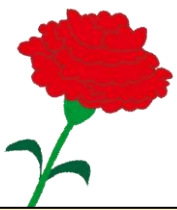
2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災で、甚大な被害に襲われました。震災当時、安否確認や復旧に向け現場で多くの組合員のみなさんが奮闘しました。

そして、JR東労組として、総合共済の給付とは別に、被災した組合員の生活復興支援・当面の生活保障になるように、お見舞い金の支給や無利子貸し付けを行うことも判断しました。



菜の花  
(花言葉：希望)

また、釜石と東松島地区へのボランティア活動を担い、地域の復旧活動も全地本から取り組みました。さらに、岩手・宮城の被災地の仮設住宅に、「花のプレゼント」としてお届けする行動をつくり出しました。



カーネーション  
(花言葉：感謝)



ガーベラ  
(花言葉：元気)

東日本大震災に関する死者は1万5899人、行方不明者は2526人(3月1日時点)となっています。コロナ禍で、10年先の社会が目の前に現れていると言われますが、福島原発事故の現状を見ても10年前の震災からの復興はまだ道半ばです。

命を守る行動ができたのは、一人ひとりがその場における的確な判断ができたことです。それを支えているのは、柔軟な思考力と、判断したことを実行できる行動力、個人の主体的な判断を尊重する職場風土でした。

**様々な災害が激甚化する中で、東日本大震災の教訓を引き継ぎ、何でも言い合える風通しの良い職場を目指していきましょう。**